

福島第一原子力発電所 2～6号機のプロセス計算機における復水器出入口海水温度データについて（現状）

平成19年1月10日現在

設計値以内におさめる目的等でプロセス計算機の調整を実施したと思われる事例（過去の一時期におけるデータ改ざんの疑いがあり確認中）

プラント名	概 要	現 状
福島第一原子力発電所 2号機 (復水器出入口海水温度差設計値 = 9.2)	時期：昭和61年 3月 内容：復水器出入口海水温度差が9.6 で設計値(9.2)を超過しているため、復水器出口海水温度を1 下げる。	・現状は問題なし (プロセス計算機のプログラム点検 [平成18年12月実施] で、補正項がないことを確認済み)
福島第一原子力発電所 6号機 (復水器出入口海水温度差設計値 = 8.4)	時期：昭和62年 9月 内容：復水器出入口海水温度について、1.8 下げる操作を実施。	・現状は問題なし (プロセス計算機のプログラム点検 [平成18年12月実施] で、現状の補正項が0 になっていることを確認済み) ・当時のプロセス計算機は、昭和63年に取り替えられ、プログラムは一新されている。

精度の良い他の温度計の表示値にあわせる目的等でプロセス計算機の調整を実施したと思われる事例（データ変更の適切性について確認中）

プラント名	概 要	現 状
福島第一原子力発電所 3号機 (復水器出入口海水温度差設計値 = 9.2)	時期：昭和57年 3月 内容：プロセス計算機が表示する復水器出入口海水温度について、仮設精密温度計による測定結果と整合させる目的でプログラムの変更を実施。	・現状は問題なし (プロセス計算機のプログラム点検 [平成18年12月実施] で、現状の補正項が0 になっていることを確認済み) ・当時のプロセス計算機は、昭和62年に取り替えられ、プログラムは一新されている。
	時期：昭和57年12月 内容：プロセス計算機の表示値を仮設精密温度計にあわせる目的でプログラムの変更を実施。	
福島第一原子力発電所 4号機 (復水器出入口海水温度差設計値 = 8.4)	時期：昭和57年 2月 内容：プロセス計算機が表示する復水器出入口海水温度について、仮設精密温度計による測定結果と整合させる目的でプログラムの変更を実施。	・現状は問題なし (プロセス計算機のプログラム点検 [平成18年12月実施] で、現状の補正項が0 になっていることを確認済み) ・当時のプロセス計算機は、昭和62年に取り替えられ、プログラムは一新されている。
福島第一原子力発電所 5号機 (復水器出入口海水温度差設計値 = 8.4)	時期：昭和57年 3月 内容：プロセス計算機が表示する復水器出入口海水温度について、仮設精密温度計による測定結果と整合させる目的でプログラムの変更を実施。	・現状は問題なし (プロセス計算機のプログラム点検 [平成18年12月実施] で、現状の補正項が0 になっていることを確認済み) ・当時のプロセス計算機は、昭和63年に取り替えられ、プログラムは一新されている。
	時期：昭和57年 7月 内容：プロセス計算機の表示値を温度計にあわせる目的でプログラムの変更を実施。	